

RESPONSE BLADE

SPORT LINE

この度は弊社製品<RESPONSE BLADE>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はエアフローメーターセンサーへの空気の流れを補正しエンジンレスポンスを高める目的に製作された製品です。*レスポンスブレードは文中ではくブレード>と略して記載されています。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならびご使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に取り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

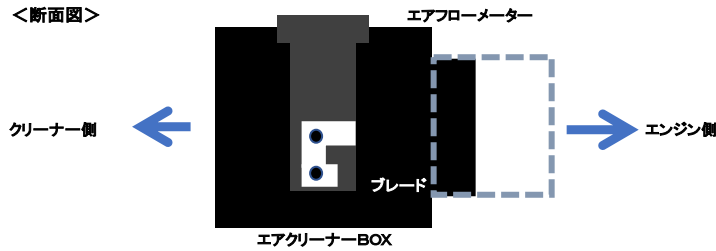
- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ネジの締め忘れ、ダクトの働きの不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしまった場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

【ブレードの取り付け方法】

<断面図>

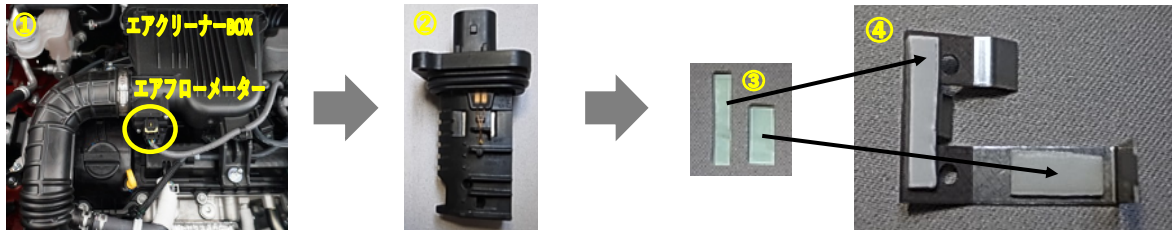


- 取り付け断面図です。作業の参考にして下さい。
- 白線部分がブレードです。付属の両面テープにてブレードを固定します。

<作業手順>



- 下記画像のブレードは、見易さ優先の為に一部銀色のものを使用しています。
- 取り付け作業はエンジンキーを抜いてから約5分以上経過してからおこなって下さい。
→完全に車両電源がシャットダウンしないうちに作業をおこなった場合、エンジンチェックが点灯してしまいます。

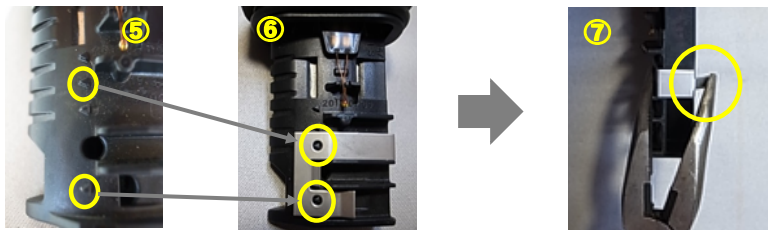


- ①エアフローメーターのカプラーを抜き、固定ネジ2本をはずして下さい。
- ②エアフローメーターをエアクリーナーBOXより抜いて下さい。
* 抜いた跡の穴に異物が落ちぬようにガムテープ等で一旦フタして下さい。



- ③付属の両面テープをはさみにて下記寸法にカットして下さい。
* 18mm×4mm → 1枚 * 12mm×5mm → 1枚

- ④上記画像を参考に、ブレードの内側2カ所に両面テープを貼りつけて下さい。



- ⑤、⑥両面テープのシール紙を完全にはがして、エアフローメーターとブレードを合体させて下さい。
* 画像⑤のエアフローメーターの突起にブレードの2箇所穴を合わせて慎重に作業をおこなって下さい。



- ⑦ブレードのフック部をラジオペンチにて確実に曲げて、ブレードの抑え部分をつくって下さい。
* エアフローメーターの樹脂部分を壊さぬよう慎重に作業をおこなって下さい。

- ⑧エアフローメーターをエアクリーナーBOXにネジにて固定して下さい。

【使用上の注意点】



- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してからブレードを使用して下さい。
- ブレードは両面テープにて固定されています。必ず1年以内もしくは15000km以内ごとに、固定の状態確認をおこなって下さい。

【トラブルチェック】

<ブレード装着による変化が感じられない>

- 車両がECOモードになっていると、ブレードの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの比較をお勧め致します。
- 数々のテストでは、登坂路でのアクセルの踏み始めからハーフアクセル時に大きな効果が得られます。特にノーマルで感じられるアクセルの踏み始めのタイムラグが解消されたか？を確認して下さい。

<アイドリング不調><吹け上がらない>

- エアフローメーターのカプラーが確実に挿入されているか？確認して下さい
- エンジンルーム内ダクト類が確実に挿入されているか？エア漏れがないか？確認して下さい。

<エンジンチェックが点灯した場合>

- ノーマル状態で、(走行-エンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

【弊社製品の同時使用について】

- 弊社製品との組み合わせは可能です。よりいっそう各製品の効果を引き出すことが可能です。

【類似品について】



- 本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合が考えられます。